リフォームをめぐる人々 ❶

月1回掲載

三井のリフォーム 住生活研究所 所長　西田恭子

したたかな、頼もしい女性たち

昨年一〇月、東京ミッドタウンのタワー棟七階に「三井のリフォーム 住生活研究所」が設立した。リフォーム業界で初めて設立した研究所であることもさることながら、東京ミッドタウンという知名度で訪れる方が多い。皆さん「東京ミッドタウンを見ておかなくては」とおっしゃり、千客万来である。

先月、ある取引先の若い女性社員の方々の来訪を受けた。研究所への挨拶半分、東京ミッドタウンに行きたい！　半分であろうが、私も他社の女性の働き方に関心があり、彼女たちの仕事ぶりを根掘り葉掘り聞いた。彼女たちもまた三井の女性たちの働き方を焦点として話していた。帰りに昨年私が出した『リフォームで活躍する女性たち』という本を差し上げた。

後日きれいな封筒に入った、訪問のお礼状が送られてきたが、自分の履歴と、いつか一緒に仕事が出来ればと書かれていた。転職を重ねることによって自分のキャリアアップを図ろうとしている。この分野をめざす女性達はすでに欧米化しているのではないか？

また先日、某協会の会員向けセミナーを行った。インテリア系の資格をお持ちの女性たちで、セミナータイトルは「リフォームプランナーの仕事と魅力」。

するとセミナーが始まる前に「西田さんとお話がしたかった」と言い、自分の子育てが一段落したので仕事復帰がしたいと、現在の状況を語り始める方がいた。またセミナーが終わると別の方が「実は私はこういうものですが…」と履歴書を広げて話し始めた。何とダイレクトな就職活動だろうか。（機を見て敏とはこのことかしら）。

たまたま来ていた採用担当者と早速履歴書を見ながら、簡易事前面接を行った。

リフォームプランナーの面接に立ち会う機会もあるが、彼女らの履歴書は本当に綿密に書かれている。次々と資格を取得し、転職の一つ一つがステップアップになっている内容である。

男性たちが、仕事に熱心な女性、仕事が出来る女性のことを、「女性はよく勉強するからね」とか、「女性はまじめだからね」などと、おっしゃるのを聞くが、そんな簡単な言い方で、のん気に構えていてよいのかしらと思うことが最近よくある。

ミッドタウン営業所にはそんな「リフォームで活躍する女性達」がたくさん頑張っています。皆様、オフィス棟からでないと見られない七階からの景色もありますので、三井の「住まいのプラザ」にぜひ一度お越しください。

「住まいのプラザ」エントランス

西田恭子氏のプロフィール＝一級建築士。「三井のリフォーム」で設計を手がけ二五年。昨年より新設した「三井のリフォーム 住生活研究所」の所長に就任。新聞・雑誌・書籍の執筆、各種セミナーで講演を行う。文化女子大学非常勤講師。日本女子大学住居学科卒。